

令和四年 第二十一期くまもと俳句ポスト

第二十一期開函

俳誌「阿蘇」主宰 岩岡 中正 選

特選

もののふの夢三月の雨に散る

熊本県熊本市

中村 和徳

【講評】

西南戦争田原坂の古戦場での句。三月は春とはいえ、まだ寒かった。その激戦を「三月の雨に散る」と詠んで、若者の命を惜しみ、しみじみと歴史を回顧する。「もののふの夢」という出だしからしらべが高く、美しい追悼句になった。

わが輩通り賞

神棚はハーンの遺品桐の花

長崎県諫早市

麻生 勝行

入選

紫陽花にきのふの雨の重さかな

熊本県熊本市

芥川 卓

窓といふ窓開け放ち竹の春

熊本県熊本市

光永 忠夫

雨上がり菜の花畑に光あれ

熊本県熊本市

廣瀬 勝則

佳作

桜貝牧水熱き詩^{うた}ごころ

熊本県熊本市

鶴田 信吾

薰風や剣聖偲ぶ西の塚

熊本県熊本市

坂口美穂子

下^{した}萌^{もえ}の命ぞ噴ける五岳かな

熊本県熊本市

長袋 悟

露天風呂我もゆらゆら花いかだ

熊本県熊本市

前田 俊明

晩春や喫茶室より市電見ゆ

神奈川県横浜市

吉村 珠美

熊本は楓^{ふう}の木の街風光る

熊本県熊本市

菊池 一郎

戦争で取りかえせない命たち

熊本県熊本市

牧 遙華

八千代座の杵^きの音涼しくゆき渡る

熊本県熊本市

山崎 綾子

日の満ちて親しきものに冬そうび薔薇

東京都板橋区

南方 日午

わかもののゆめとちからのたばるぞか

熊本県阿蘇郡

三村 幸椰

投句総数 九十五句

市内 七十七句

市外 十八句

開函日 令和四年六月三十日